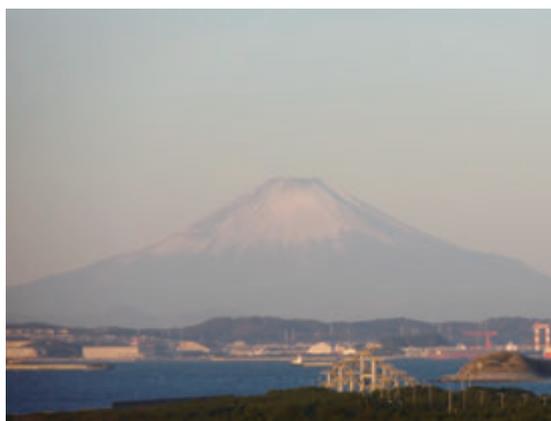




富津市立環小学校5・6年生児童29名（指導：川名由美子教諭）による、第22回議場コンサートが、12月6日に開催されました。「Happyメロディー」「いのちの歌」「虹色のハーモニー」「夕やけの歌」の合唱4曲が披露され、澄み渡るハーモニーが議場全体を包み込み聴く人々の心が癒されました。



富津 「初冬の明治百年記念展望塔と富士」
写真提供 大堀・馬淵健夫さん

富津絶景³³

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こそり独り占めせず、欲びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。
(上記編集先まで)

12月定例会・条例改正等…… 2～3 P

議決結果…………… 4 P

個人質問…………… 5～9 P

議会運営委員会行政視察報告…… 9 P

議会報告会……………10～11 P

トピックス、定例会日程 ……12 P

12月 定例会

◆ 条 例

▼職員の育児休業等に関する条例の一部改正

非常勤職員に係る育児休業について、子が2歳に達する日まで延長することができることとするため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼都市公園条例等の一部改正

有料公園施設について、利用に係る料金を指定管理者の収入として収受される利用料金制度の導入及び使用料の一部見直し等を行うため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

平成29年12月定例会は、11月29日から12月20日までの22日間で開催されました。議案23件、意見案1件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。

▼市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例の一部改正

道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部を改正する命令が施行されたこと等に伴い、関係する規定を整備するため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

富津市議会議員及び富津市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公費負担に関する規定を整備するため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼土地の取得について

千葉県が施工予定の都市計画道路神明山1号線に係る道路用地は、富津市土地開発公社が先行取得し、現在継続して償還を行っているが、千葉県より当該道路用地の買取りの申出があったため、千

葉県へ当該道路用地を売却するために市が土地を取得することについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求めるもので、全員の賛成で可決しました。

▼市道路線（ゆうやけ橋線）の認定について

地域住民の利便性を確保するため、市道ゆうやけ橋線を認定することについて道路法第8条第2項の規定により議会の議決を求めるもので、全員の賛成で可決しました。

▼議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

一般職の職員に係る勤勉手当の支給割合を引き上げることに伴い、議会議員に係る期末手当の支給割合を引き上げるため、条例の一部を改正するもので、賛成多数で可決しました。

▼特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正

一般職の職員に係る勤勉手当の支給割合を引き上げることに伴い、特別職の職員で常勤のものに係る期末手当の支給割合を引き上げるため、条例の一部を改正するもので、賛成多数で可決しました。

▼一般職の職員の給与等に関する条例及び富津市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

平成29年10月の千葉県人事委員会勧告に準じ、職員の給料月額及び勤勉手当の支給割合の引上げを行うほか、地域手当の支給割合の引上げ、通勤手当の上限の設定等を行うため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。



市道に認定された「ゆうやけ橋線」

▼税条例の一部改正

地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律により改正された地方税法の一部が施行されることに伴い、関係する規定の整備をするため、条例の一部を改正するものであり、全員の賛成で可決しました。

▼体育施設の設置及び管理に関する条例等の一部改正

体育施設について、利用に係る料金を指定管理者の収入として收受させる利用料金制度の導入及び使用料の一部見直し等を行うため、条例の一部を改正するものであり、審査の過程において、「使用



富津市総合社会体育館

料と利用料金の違いについて」、「指定管理者の指定について及び契約について」、「指定管理者の算定方法について」、「施設の貸し出し方法について」などの質疑がなされ、全員の賛成で可決しました。



同体育館アリーナ

◆補正予算

▼一般会計補正予算(第4号)

主な内容は、一般職人件費、児童発達支援給付事業、平成29年台風21号の豪雨等により被災した公共土木施設等の災害復旧事業、街路用地取得事業などに係る経費及びこれらに関連する歳入を計上するもので、全員の賛成で可決しました。



台風21号の豪雨等により被災した新舞子海岸

▼一般会計補正予算(第5号)

主な内容は、本年度の給与改定等に伴う議員人件費、一般職人件費及び特別職人件費の増額並びにこれらに関連する歳入を計上するもので、賛成多数で可決しました。

▼水道事業会計補正予算

主な内容は、本年度の給与改正等に伴う一般職人件費を補正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼国民健康保険事業特別会計

一般職人件費及び一般被保険者国民健康保険税還付金の増額並び

にこれらに関連する歳入を計上するものであり、全員の賛成で可決しました。

▼後期高齢者医療特別会計

一般職人件費の増額及びこれに関連する歳入を計上するものであり、全員の賛成で可決しました。

▼介護保険事業特別会計

一般職人件費及び介護保険料還付金の増額並びにこれらに関連する歳入を計上するものであり、全員の賛成で可決しました。

◆意見案

▼道路整備事業に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書について

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定により、地域高規格道路や交付金事業の補助率等が50%から55%等にかさ上げされているため、地方負担が軽減されている状況となつている。このかさ上げ規定は、平成29年度までの時限措置となつているため、平成30年度以降も継続することを強く要望するもので、賛成多数で可決しました。



平成29年12月 定例会の議決結果



※議案23件、意見案1件の議決結果は次のとおりでした。

議案等	議決結果	猪瀬浩	諸岡賛陸	三木千明	高木一彦	千倉淳子	山田重雄	平野英男	渡辺務	松原和江	岩本朗	石井志郎	藤川正美	永井庄一郎	鈴木幹雄	福原敏夫	平野明彦議長
平成29年度一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めること	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
都市公園条例等の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
体育施設の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
土地の取得（道路用地）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
市道路線（ゆうやけ橋線）の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めること（2件）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	-
特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-
一般職の職員の給与等に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度一般会計補正予算（第5号）	原案可決	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
道路整備事業に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書	原案採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。
議案名中の『富津市』及び、『～について』は省略表示しています。

○ = 原案賛成 ● = 原案反対

有害鳥獣等被害対策、 定員適正化計画、待機児童



石井 志郎
議員

問 有害鳥獣等被害対策について。

市長 今年度の捕獲方法別捕獲数は9月末現在猪が箱罾741頭、括罾34頭、銃器11頭計786頭、鹿が箱罾115頭、括罾55頭、銃器8頭計178頭。今後の対策は6月議会で議員にお答えしたが、有害獣の個体数を減少させる事が有効であるので捕獲体制の強化を図るため、今まで禁止していた狩猟期間中の括罾による捕獲を今期から実施した。さらに大量捕獲が可能な罾を一基導入した。

問 括罾の安全対策について。

建経部長 設置箇所案内看板を提示するよう捕獲従事者に指示。今後は市民に更なる周知をする。

問 罾の設置数と設置コストは。

建経部長 箱罾の設置数は約500基、箱罾は一基当たり約10万円の費用、括罾は一基当たり約5千円から1万5千円で購入できる。

問 括罾の補助金について。

建経部長 国の交付金を活用し設置方法等を検討、必要に応じて括罾の購入に対して富津市有害鳥獣対策協議会に補助していきたい。

問 臨時職員非常勤一般職、再任用職員と正職員への登用について。

総務部長 非常勤及び臨時職員の採用は、希望する者を名簿に登録、担当課が名簿登録者の中から選考試験を実施して合格者を任用。常勤一般職員の採用は競争試験を実施。富津市の非常勤職員や臨時職員の身分で常勤一般職採用に際し優先権や便宜を図る事は一切ない。

問 0歳児〜3歳児保育の条件は。

健福部長 国の配置基準で0歳児が3人に1人の保育士、1・2歳児は6人に1人、3歳児は20人に1人の配置が義務付け。

問 待機、希望に添えない子供は。

健福部長 利用可能な保育所等の情報提供を行っているが特定の保育所等を希望し待機している児童と第一希望でなく転園を希望している児童は11月現在で4名。



豊岡地先に仮設されたイノシシ・鹿など有害獣処理技術実証実験施設

農業施策、浅間山市有地等の 有効活用、他



鈴木 幹雄
議員

問 2018年度から米の生産数量目標の配分が廃止となる事での影響は。

市長 米の作りすぎで米価が下がり耕作をやめる農家が増えるなど全体的には米の生産力が低下する恐れがある。また、国の生産数量目標の配分に代わり千葉県農業再生協議会から米の生産目安が提示され、従来と同様に米の生産調整に取り組んでいたきたい。

問 農家への直接的な影響は。

建経部長 今まで目標に即した生産を行った農業者に対し、10アール当たり7500円を支援していた米の直接支払交付金が今年度で廃止になり、大規模農業者ほど影響は大きいと考えられる。

問 減収に対する今後の補償について。

建経部長 農業共済制度は引き続き継続されるが、農家の総合扶助を基本とした保険で、風水害などの自然災害や鳥獣被害などが補償対象で、米、麦、大豆などの品目に限定されている。平成31年度から新たに導入される収入保険により、米、野菜、果樹類といったほとんどの農作物が補償対象となる。

り、災害や価格低下などに対し、青色申告が必要となるが、農業者の過去5年間の収入の平均8割以上の収入が確保される。

問 浅間山砂利採取跡地の市有地等の有効活用について。

市長 当該地域の活性化のため重要なものと考えられる。また、当該地域は大半が民有地であり、地権者の意向を踏まえ民間活力による利活用を検討してまいりたい。

問 市民サービスの満足度について。

市長 市道の維持補修については各区からのさまざまな要望等に原材料を購入し、市保有の建設機材を使用して、職員が対応、また、対応出来ないものは、業者に委託して市民の満足度を高めている。



富津市の農業の風景

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。
*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
健福部長（健康福祉部長）、建経部長（建設経済部長）

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
健福部長（健康福祉部長）

財政状況と予算編成及び文化財について



永井庄一郎
議員

問 当市の財政状況について。

市長 平成26年8月時点と比較すると、経営改革が順調に推移しているため、財政状況は好転していると考えている。

問 財政力指数の低い団体と高い団体との財政運営の違いは。

総務部長 一般的には、市税等の25パーセント相当分の留保財源が大きいほど財源に余裕がある。富津市の財政力指数は0.92のため県内37市中13番目の数値になっている。国から交付される普通交付税は、数値が1未満の場合収入が下回る割合で交付される。

問 平成30年度予算編成の取り組みについて。

市長 活力あるまちづくりの施策の更なる充実を図るため、経営改革の徹底や事業手法の再点検を実施し、実現に向け取り組んでいる。

問 財政調整基金の増に伴い、市民要望等への配慮について。

副市長 健全財政への取り組みを進めつつ市民の方々からの要望への対応など図っていききたい。

問 景気の回復に伴い、本年度の主な税収の動向について。

市民部長 個人市民税、法人市民

税、固定資産税それぞれ増額を見込んでいる。

問 古墳群の活用状況について。

教育長 富津公民館の2階に出土遺物を一部展示している。また、内裏塚古墳群富津市文化財ガイドブックを全戸配布した。更に、小学校の副読本に掲載している。

問 文化財の保存と管理について。

教育長 国、県、市指定にかかわらず、日常的な維持管理のため補助金を交付している。また、災害等の不測の事態が生じた場合は、その都度対応している。

問 新たな文化財の指定や対象物の掘り起こしについて。

教育部長 1件新たな指定文化財になる予定。今後も文化財審議会にて調査等を実施していきたい。



内裏塚古墳の墳丘部に
ひっそりたたずむ石碑

富津市の防災、障害児者の支援体制



山田 重雄
議員

問 災害に対していかに早く対策を取れるかが重要だと思うが、富津市における防災体制は。

市長 富津市地域防災計画に基づき、迅速に職員を配備するための体制を取っているほか、道路や水道などのライフラインの応急復旧や物資、燃料供給等に関する協定、福祉避難所の協定など、人的、物的に災害に備えている。

問 自主防災組織の育成強化をしていると聞か、設置状況は。

総務部長 基本的に自治会単位で結成されている。平成28年度末で58団体の自主防災組織が結成された。今年度新たに4団体が結成され、現在62団体となった。

問 自主防災組織の育成強化についてどのような活動をしているか。

総務部長 自主防災組織への出前講座などで防災意識の向上や知識の普及に努めるとともに、災害発生時に必要な資機材の交付や避難訓練などへの助言、協力を行い、育成強化を図っている。

問 障がいのある方が地域で安心して暮らせるまちづくりを推進していく上で、富津市の障害児者について、身体障害者、知的障害者、

精神障害者のそれぞれの手帳所持者について。

健福部長 29年11月現在では、身体障害者手帳の所持者数は1級が568人、2級が240人、3級が277人、4級が472人、5級が64人、6級が118人、計1739人。療育手帳の所持者数については、最重度が75人、重度が88人、中度が120人、軽度が134人、計417人。精神障害者保健福祉手帳の保持者数については、1級が42人、2級が165人、3級が61人、計268人である。

問 富津市の今後の障がいのある方への支援の取り組みについて。

市長 障がいへの理解を深め虐待や差別、偏見を解消するための啓発活動に努め、障害福祉サービスの適正な提供に努める。



自主防災組織「岩本防災会」

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
建経部長（建設経済部長）

平成30～34年度 中期財政計画について

問 地方債の発行は、敢えて借金をして長い時期をかけて少しずつ返済することで、そのサービスを利用する次世代にも公平に税負担をしてもらうとのご回答を以前頂いたが、今回次世代が恩恵を受けない建物の解体工事に地方債を発行しているのは何故か。余裕がある財政調整基金から取り崩していくべきではないか。

総務部長 解体工事に関わる地方債発行は、財源の捻出が困難となる自治体が多いことを背景に、限定的に特例として国が認めているもので、本市でも活用。しかし地方債発行の抑制にも取り組んでいることより、検討したいと考える。

問 平成34年度には地方債残高が目標上限である標準財政規模の150%となる。平成35年度以降の地方債発行をどう考えるか。

総務部長 平成34年度までの投資的事業及びその財源となる起債額、元金の償還額を見込んだ上で上限値を設定している。平成35年度以降は財政に与える影響を考慮しつつ、市の将来を見据えた視点に立ち、事業の選択、上限値の設定を慎重に検討していく。



猪瀬 浩
議員

問 道路構造物修繕事業予算や市道等局部改良事業はどんなものか。

建経部長 前者は橋梁・トンネル、道路の法面や舗装等の道路構造物等を、交付金事業を用いて修繕計画を策定し、効率的な道路修繕を実施していく事業。後者は、市民や区長さんからの要望が多い道路改良や排水整備に対し、計画的に整備を実施していく事業。

問 市道稲荷口線整備事業や二塚地域排水整備事業とあるが、これらの事業はどんなものか。

建経部長 前者は飯野陣屋跡の宅地造成に伴い、残りの用地も住宅を建築できる基準の道路を整備する事業。後者は農業用水路と兼用している周辺住宅の排水路を整備する事業。

事業名称	H30	H31	H32	H33	H34	合計
14 道路構造物修繕事業		30	20	30	40	120
15 市道山王下飯野線整備事業	17	91	91	145	141	485
16 市道下飯野線整備事業	18	91	59			168
17 市道小久保岩瀬線整備事業	50	50	66			166
18 市道金志小学校前線整備事業	10	10	10	10		40
19 市道稲荷口線整備事業		9				9
20 二塚地域排水整備事業	50	50	50			150
21 先津地域排水整備事業	8					8
22 市道等局部改良事業	10	10	10	10	10	50
23 市道浅間山線整備事業		9	40	45	50	144

※一部抜粋したもので、予算状況等によって事業実施の計画が変更することあり。

富津市中期財政計画
(平成30～34年度)

安心して暮らしやすい富津市づくりについて いじめ、防災対策

問 子供の気持ちに寄り添い、子供を守る富津市づくり実現に向けいじめの克服と撲滅、その対策等本市の取り組状況等については。

教育長 いじめは断じて許されない行為であると同時に、どの学校にも、どの児童生徒にも起こり得るものであること、学校職員はいじめられている児童生徒を守り抜くとともに、いじめは絶対に許さない、ということを常に発信し続けること、児童生徒が発達段階に応じていじめに適切に対処する力をつけていくためには、学校だけでなく家族・地域・関係機関が日頃から連携・協力する体制を整えることが重要であることなどを基本とし、平成28年4月に富津市いじめ防止基本方針を策定、市内各小中学校では、この基本理念のもと、いじめの防止、早期発見に努めいじめ撲滅に取り組んでいる。

問 近隣4市を調べたところ、10月末現在で特別な配慮が必要な障がいのある方々等のための福祉避難所を民間施設と締結していないのは富津市だけであった。11月に富津市でも災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定が結



三木 千明
議員

ばれたが、富津市の福祉避難所についての対策や状況については。

総務部長 本市では、大規模災害発生時、44箇所を避難所として指定しているが、特別な配慮が必要となる障がいのある方等は一般的な避難所での生活は困難となるおそれがあるため、一時的に社会福祉法人の施設を福祉避難所として利用させていただくため、市内に事業所を有する8法人23施設と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を11月に締結、今後も災害時における要配慮者の避難生活が安全で安心なものとなるよう、環境整備や支援体制の構築などを進めていく。



福祉避難所「どんぐりの郷」

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
建経部長（建設経済部長）

循環型社会をつくるための方法



藤川 正美
議員

問 富津市の一般廃棄物量の推移と対策は。

市長 市のごみ処理量は、平成21年度の1万9693トンを一ピークに年々減少し、この7年間で2520トン減少した。ごみの減量化・資源化には、ごみ排出元の市民、事業者の協力と、市の啓発活動が重要と考える。

問 市の一般廃棄物の特徴は。

市民部長 可燃ごみが全体の8割強を占め、紙類・繊維類の資源ごみが、この3年間、特に減少傾向。

問 1人のごみ排出量は、全国平均で1日939グラム。富津市は1063グラムと高い。市の環境基本計画の第2期目が発表されたが、第1期目をPDCAサイクルして、どの点が変わったのか。

市民部長 不法投棄は、以前は産業廃棄物が多かったが、最近是一般廃棄物が多くなる。土地の適切な管理、環境パトロール等の強化に努めたい。

問 「ごみの分別ガイドブック」の更新予定は。

市民部長 平成26年2月に更新したが、現在の在庫が終了次第、再版を検討する。

問 最近話題の食品ロスを市はどのように捉えているか。

市民部長 食品ロス（食べられるのに捨てられている食べ物）は日本で年間632万トンになる。身近な取り組みとして、宴会時に開始後30分間や終了前の10分間は、料理を食べるための時間を設ける3010運動などの啓発が重要。

問 国連の持続可能な開発目標（SDGs）を、ご存知か。

市民部長 市民・業者・市が協力する小さな積み重ねが、国連の目標につながると思う。

問 市内の清掃ボランティアグループの現状は。

市民部長 平成28年度実績で、111件の申し込みがあり、延べ1万5千人以上のご協力があった。



身近なごみステーションで、丁寧に分別することが、世界の環境問題の改善につながっていく。

富津市の地域振興、公共交通、国際交流について



高木 一彦
議員

問 「活力と魅力ある地域づくり」とは。「小さな拠点」「ふるさと集落生活圏」についての考え方と実態、取り組みは。

市長 将来像を共有しながらまちづくりをし、魅力の再確認と地域愛を育むことが大切である。

総務部長 生活や活動の拠点が、集約、確保されており、市街化区域を除いた小学校区をエリアとしている。拠点と周辺集落を移動手段で結び高齢者も安心できる生活圏のことで、生活と移動のしやすい環境づくりに取り組む。

問 UIJターン及び二地域居住について現状と取り組みは。

総務部長 定住促進として奨励金を交付している。二地域居住は官民連携で地域特性を生かした滞在・交流の場の創出は重要と考える。

問 峰上地区の地域振興の進捗は。

水道部長 水道事業の豊岡地区の進捗率は60・1%、志駒地区は65・5%で完成年度は平成31年を予定。

建経部長 鳥獣処理の実証実験は不具合を修理し11月13日から再開しており現在進行中。

問 公共交通の将来像及びJ-Rの利便性向上についての考えは。

市長 真に必要なとしていること、持続性の確保を基本的な考え方とし、交通事業者、市民、関係者とともに計画を策定し実行していく。

総務部長 J-Rには丁寧な説明と情報提供及び地域の意見の反映する仕組みの創設等求めていく。

問 ホストタウンについての考え方及び国際的なスポーツ交流は。

市長 ホストタウンは、本市単独で登録する考えはない。

教育部長 スポーツを通じた国際交流は実施していない。

問 ドイツではスポーツクラブが核となり、まちづくり等に貢献しているが誘致を含めた可能性は。

教育部長 スポーツにかかわる方々の協力を得ながら青少年健全育成に取り組んでまいりたい。



「小さな拠点」：日常生活に必要な機能・サービスを集約・確保し、周辺集落との間を交通ネットワークで結んだ地域の拠点

小さな拠点の概要（国土交通省HPより）

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
健福部長（健康福祉部長）

国保税の引き下げ 公共交通

問 国保加入者の実態と国保税の負担についての市の見解は。
市長 他の医療保険と比較して年齢構成が高い、医療費水準が高い、所得水準が低い。保険給付費に見合った国保税額と考える。
問 来年度からの県単位化により、国保税は下がるのか。
市長 県から仮係数による標準保険料率の試算結果が示された。平成28年度と比較し減額になると思われる。
問 所得に占める国保税の割合は。
健福部長 平成28年度現年度分の決算値では11・2%。
問 全国知事会が国に対してどのような要求をしているか。
健福部長 子どもの均等割保険料軽減措置の導入及び定率国庫負担金を引き上げることなど。
問 昨年9月議会で先進市を示し、富津市でも子どもの均等割軽減措置の導入を求めたがいかがか。
健福部長 平成30年度の税率等を算出し、その結果により検討する。
問 J R内房線の位置づけは。
市長 市の基幹公共交通である。引き続きJ R千葉支社に、利便性の維持向上を働きかける。

問 J Rのダイヤ改正、営業時間の変更等に対する対応は。
総務部長 発表前に事前の丁寧な説明、情報提供及び地域の意見を反映する仕組みの創設を検討するようJ Rに求めていく。
問 天羽地区区長会が長野県中川村へ公共交通の視察に行き、市長に報告している。感想は。
市長 大変公共交通の取組に関心が高く、地域の課題としている。先進地を確認、調査研究をしながら富津市に合った公共交通を考えていくべきだと考えを新たにしました。
問 公共交通を整備するため、どのくらいの補助が必要か。
総務部長 補助ありきではなく、交通事業者、市民、関係者と連携し、持続可能な公共交通網を形成していくことが重要。



松原 和江
議員

一般会計に占める公共交通の支出割合 2016（平成28年度決算値）（単位：千円）

	路線バス補助	市営バス等	デマンド交通	スクールバス等	福祉有償運送福祉タクシー券	公共交通計	一般会計歳出計	支出割合
富津市	34,293			10,306		44,599	16,209,464	0.275%
君津市	50,522	78,901	30,650			160,073	28,887,142	0.554%
長野県中川村		24,570	1,013	680	1,737	28,000	3,357,512	0.834%

議会運営委員会行政視察報告

平成29年7月25日（火）～26日（水）、議会運営委員会は、岡山県笠岡市議会における「議会基本条例例、ICT化推進基本計画」と、広島県呉市議会における「議場システム、タブレット導入、議会図書館」について視察を行いました。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 永井庄一郎 |
| 副委員長 | 猪瀬 浩 |
| 委員 | 福原 敏夫 |
| 委員 | 松原 和江 |
| 委員 | 岩本 朗 |
| 委員 | 渡辺 務 |
| 委員 | 平野 英男 |

笠岡市議会では議員の責任を明確にする目的から議会基本条例制定。議長選挙の所信表明（休憩中に本会議で実施）、公開会議（休日議会や市内各所で議会報告会実施）などを明文化。ICT化推進基本計画ではタブレット端末利用（検討中）、会議資料電子データ化（検討中）、会議の動画配信（実施済）、情報共有プラットフォーム（検討中）と項目を分け、出来るところから取り組んでいる。使いこなせる人と使いこなせない人がいるが、導入することを決め研修を通して利用を推進。議会基本条例は議

会の責任を明確にするものとして有効で、またICT化推進は時代の流れから必要で、富津市議会でも対応できるところから段階的に進める必要がある。

呉市議会の議場システムは、導入費約1億3千万円でランニングコスト約300万円。事前にシステムの拡張性を確保しておくことが大事で、これが後のバージョンアップに対応可能となる。タブレット導入費は約152万円で、全議員に配布しているが、活用レベルは各議員違うので研修を実施。議会図書館は司書を配置していることが特徴。司書は調査相談機能を求められており、議員の一般質問のサポート、議会事務局のサポート、さらには市役所職員の要望にも応じている。富津市議会でもさらなる議会活動の見える化推進、活動効率を上げるタブレット導入、また議員のスキルアップが地域活性化につながるよう図書室の充実が望まれる。



笠岡市での視察の様子

◆議会報告会2017

議会報告会も、今回で3回目を迎えます。昨年と同様の、第1部・議会報告会、第2部・参加者の声を聞く意見交換会の2部構成で開催し、参加者の皆さんに多くのお声を頂きました。



なお今回は、富津地区・大佐和地区・天羽地区の議員が、それぞれの地域の特性にあったテーマを選定させて頂きました。富津地区においては、「子育て世代の声を拾うべく」「子育てについて」というテーマを、大佐和地区においては、公共の交通手段に対しての要望を聞くために「公共交通について」をテーマに、そして天羽地区においては、現在増えつつある空き家に関する諸問題について対策等話し合うために「空き家問題について」をテーマに、議員と参加者とで意見交換を行いました。

また場所についても、より地域の住民に近い場所を、ということ、富津地区については富津公民館での開催でしたが、大佐和地区については佐貫コミュニティセンター、天羽地区については峰上公民館で開催をしました。



峰上公民館

今年も富津市内3か所3日間の開催とさせて頂き、延べ52名の方にご参加いただきました。なお開催時間が18時からということもあり、参加しなかったのだけども都合がつかなかった。休日や日中での開催も検討して欲しいとの声もありました。これらテーマ・場所・

日時については、来年もいろいろと検討してまいりたいと思います。



富津公民館

議会報告会2017の内容については、昨年同様、第1部では、総務産業常任委員会及び教育福祉常任委員会が所管する事柄（富津市の財政状況の推移、避難所自動解錠ボックス、有害鳥獣問題、富津小・中学校再配置計画についての進捗状況、放課後児童クラブ、各種健診・検診制度等）、また平成28年度一般会計決算報告、そして議員主体で調査・研究に取り組んでいる地方創生研究会（公共交通

網・空き家バンクについて調査）や議会改革推進研究会（議会報告会の企画・開催、議会制度の改革についての研究）からの報告をさせて頂きました。



佐貫コミュニティセンター

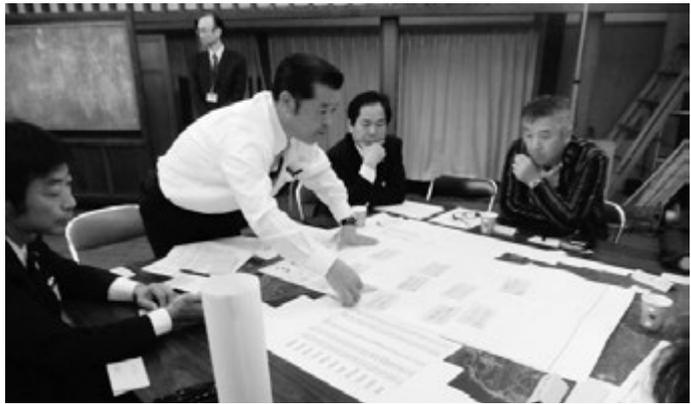
続いて第2部では、各テーブルにコーディネート（グループ内での進行調整）役・補佐役の議員を配置し、グループごとに参加者の方たちと意見交換を行いました。各グループとも、その日のテーマについて、まずは自分の意見を付箋紙に書き込んで頂き、それからグループ内で議論をし、最後はコーディネーター役の議員がグルー

プ内で議論された内容を発表し、会場内の参加者で情報を共有しました。



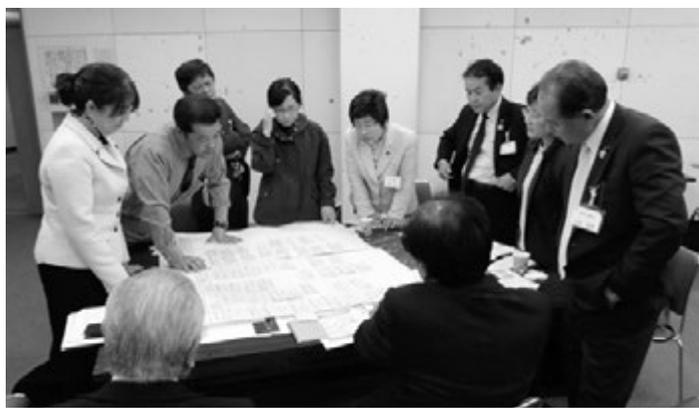
テーマ「空き家対策について」では、「これから増えるだろう空き家に対して、今のうちから情報収集をして、地域・行政がその情報を共有していく必要がある」「現状既に空き家になってしまっているものについては、地域の防犯上の危険性の増加やまちの景観を損ねる問題が発生しているのを、市が指導する等で早めの対処をして欲しい」「管理出来ない空き家に対して、助成金制度や売買・賃借

等の情報発信をする等して、空き家を減らす仕組みを作って欲しい」等の意見が出ました。



テーマ「子育てについて」では、当日参加出来ない保護者の方たちの意見も事前にまとめ上げて持参頂く等、保護者の方たちの子育てに対する意気込みを感じました。その中で多く出た意見としては、「共働き世帯等では、学校が終わり17時ぐらいいまで子どもが自由に遊べる公園や児童館があると助かる」「子育て支援関係のサポートがあまり知られていないので、もっと上手にアピールして欲しい」「他

のお母さんや子どもと接することが出来る場を設けて欲しい」「子育て講座や健康診断をするときに、一時預かり所があると助かる」等の声がありました。その他、「公民館等に図書室はあるけど、薄暗かったり、児童書が本棚の高い位置にあったり、新書が段ボールに入ったままだったりして、使いにくい」「ショッピングセンターに協力を求めて図書スペースや遊び場を設けてもらえれば、駐車場にも困らないし、運行バスもあるので便利だと思う」等の利用者目線からの声も上がりました。



テーマ「公共交通について」では、「まずはJRRと路線バスの乗り継ぎをスムーズにして欲しい」「路線バスはどこでも自由に乗り降り出来るようにして欲しい」等の意見が出ました。その上で、どうしても路線バス等を運行出来ない地域に対しては、「UBERやカーシェアリング制度の導入を検討して欲しい」「地域で公共交通手段（シェアライド・有償運送等）を考えるので、それに対して市から助成をして欲しい」等の意見が出ました。

議会としましては、今回参加して下さった方たちから頂きました多くの声を、各議員の一般質問の中で取り上げたり、議会内部や市職員と共に検討する場を設けたりして、少しでも市政に反映出来るように目指してまいります。





10月12日に「和光保育園」の、年長児童と先生の25名が議場見学を訪れました。議員席に座って議場の雰囲気を楽しみました。



11月22日に館山市議会との交流事業を実施しました。今年度は館山市を訪問し、小・中一貫校の「房南学園」を視察後、情報交換会において交流を深めました。



11月25日に当市議会主催による議会講演会を開催しました。柳澤要千葉大大学院教授を講師に迎え、「これからの地域と学校のありかたについて」をテーマに市民を交えて研修を行いました。



12月14日に市内豊岡地先にて、有害獣処理技術実証実験施設を見学しました。この実験は、害獣を高圧・高温水蒸気を用いて、加水分解・再資源化を目的として、市と㈱LECが共同で実施しています。



1月9日に袖ヶ浦市にて、「かずさ四市議会議長会議員研修会」が開催されました。吉添千葉県環境生活部長を講師に迎え、「自治体の政策と予算」をテーマに研修を行いました。



1月13日に市役所1階ロビーにて、「平成30年新春賀詞交歓会」が開催されました。総勢400名が参加し盛会に行われました。

ぜひ、議会傍聴に！

3月定例会日程

2月21日 (水)	10時	開会
23日 (金)	10時	議案の上程
3月5日 (月)	9時30分	議案質疑
6日 (火)	9時30分	一般質問
7日 (水)	9時30分	予備日
8日 (木)		常任委員会
9日 (金)		常任委員会
12日 (月)		予算審査特別委員会
13日 (火)		予算審査特別委員会
14日 (水)		予備日
23日 (金)	10時	委員長報告 議案審議 閉会

3月5日の午前9時から議場コンサートを予定しております。
出演は湊小学校児童の皆さんです。

※日程は変更になることがありますので、議会事務局（80・1331）へお問い合わせください。

【編集後記】

12月定例会会期中に、本会議審議案件とは別に、これから課題となってくる案件を、全員協議会の中で執行部より説明を頂きました。（仮称）木更津市火葬場整備運営事業基本計画・君津地域水道事業統合広域化基本計画・富津市地域公共交通網形成計画・富津市学校施設整備基本計画（案）・富津市学校給食施設整備の指針等。

議会でも引き続き、しっかりと確認してまいります。パブリックコメントの募集等が適宜行われますので、市民の皆様の声もお聞かせ頂ければと思います。
(ひろし)